

旧吉田茂邸の再建に向けて

旧吉田茂邸(西小磯)は、戦後日本の復興に大きな功績を残された故吉田茂元首相の本宅であり、「大磯参り」ということばに表されるように、国政の重要な役割を果たしたところです。

現在、この邸宅は民間企業の所有となつていますが、平成17年4月に、所有者から大磯町や神奈川県に対して売却の打診がありました。

その後、関係機関が検討を重ねた結果、保存・活用を求める5万人もの署名の後押しもあり、旧吉田茂邸は、神奈川県が都市公園として整備し、建物部分は県による補修改修後、大磯町が県の許可を得て管理運営する方向性が打ち出されました。



しかしながら、残念なことに、去る、本年3月22日早朝に本邸が火災により焼失しました。

そこで、3月27日に、三好正則大磯町長、重田照夫大磯町商工会会長及び井上浩吉大磯町観光協会会長が、松沢成文神奈川県知事及び羽田慎司副知事を訪問し、再建に向けての協力を要請しました。

また、本町では、4月9日に「旧吉田茂邸再建プロジェクト」を立ち上げ、焼失した旧吉田茂邸の再建に向けた検討を行つていくこととしました。

さらに、4月13日には、関野好一大磯町区長連絡協議会会長、井上浩吉大磯町観光協会会長、重田照夫大磯町商工会会長及び中島源吾大磯遺産保存会副会長の連名で、百瀬恵美子大磯町議会議長と三好正則大磯町長宛てに、それぞれ要望書が提出されました。

要望書には、①旧吉田茂邸は大磯の象徴だった。②町を挙げたの保存活動が実り、県立都市公園としての整備が着手される矢先に、建物が焼失してしまつたことは誠に憂慮すべき事態だ。③旧吉田茂邸を再建することは国民的願ひであり、象徴を失つた地元大磯町民の責務であると

言つても過言ではない。④旧吉田茂邸の再建に向けて基金条例等の設置と整備に向けて、積極的な行動をして欲しい。といった切実な思いが記されていました。

町としても、本町の名譽町民であり、日本の国際社会への復帰と繁栄の礎を築いた故吉田茂元首相の旧邸宅は、総理在任中はもとより、政界引退後も多くの政財界人が訪れるなど、重要な役割を果たしてきた戦後政治史の舞台であり、こうした歴史の価値のある貴重な資産を再建することは、旧吉田茂邸が有していた歴史的意義を後世に伝えることになるため、再建に向けた呼びかけを全国に向けて発信する責務があると認識しています。

そこで、旧吉田茂邸の再建に向けては、地元である本町こそが率先して取り組むべきであるとの考えに立ち、必要な準備を迅速に進めているところです。

また、県においても、4月8日に「旧吉田茂邸再建検討会議」が設置されました。

今後は、所有者や国及び県等と協力しながら、旧吉田茂邸の再建に向けて取り組んでいきます。

◎問い合わせ
政策課 内線205

友好の桜となれ

～ 沢南足柄市長から贈呈 ～

旧吉田邸焼失という悲報を受け、さる、3月31日に、沢南足柄市長に訪問いただき、友好の証として、足柄桜として知られる「春めき桜」の苗を贈呈いただきました。

この桜は、3月中旬から下旬に見ごろを向かえ、花が密に咲く可憐な桜として知られます。

町としては、「友好の桜」として位置づけ、両市町に關係深い「横溝千鶴子記念障害福祉センター」と日本3大俳諧道場として知られる「鳴立



だれからも愛されるシンボルツリーとして大切に育てていきます。

◎問い合わせ
政策課 内線213

平成20年度南足柄市

横溝千鶴子教育表彰受賞

松井友美さん

3月21日(土)、松井友美さん(生沢在住、相洋高校1年)と山

本愉衣さん(南足柄市在住、相洋高校1年)が標記表彰の個人表彰を受賞されました。

この受賞は、平成20年7月27日から開催された「平成20年度全国高等学校陸上競技大会(インターハイ)」女子400mリレーの走者として活躍し、県高校記録を更新する好記録で神奈川県勢初の全国制覇を達成したことが評価されたものです。

◎問い合わせ
子ども育成課 内線332



南足柄市で(中央が横溝千鶴子さん、右が松井友美さん)